



平成29年2月分 大分税関支署管内貿易概況

平成29年4月18日
門司税關 大分税關支署

県全体の貿易額

輸出額は623.6億円、前年同月比18.4%増、5か月連続のプラス

鉄鋼、事務用機器、有機化合物などが増加

船舶類などが減少

輸入額は826.3億円、前年同月比8.9%減、2か月ぶりのマイナス

銅鉱、原油及び粗油、鉄鉱石などが減少

揮発油などが増加

主要品目

(単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同月比	構成比	輸 入	価 額	前年同月比	構成比
有機化合物	9,153	135.3	14.7	鉄鉱石	11,663	85.4	14.1
鉄鋼	18,025	155.9	28.9	銅鉱	17,712	62.3	21.4
銅及び同合金	10,530	112.6	16.9	石炭	15,994	98.5	19.4
事務用機器	10,555	134.3	16.9	原油及び粗油	6,878	77.2	8.3
映像機器	3,200	176.1	5.1	揮発油	10,762	146.1	13.0
船舶類	2,534	28.4	4.1	液化天然ガス	10,864	89.3	13.1

港（通関官署）別の状況 (詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照)

- 大分) 輸出は613.6億円、前年同月比30.5%増。鉄鋼、事務用機器、有機化合物などが増加
輸入は817.1億円、前年同月比9.2%減。銅鉱、原油及び粗油、鉄鉱石などが減少
- 佐伯) 輸出は0.8億円、前年同月比66.8%増。木材などが増加
輸入は2.4億円、前年同月比6.8倍。植物性油かすが増加、鉄鋼、船舶類などが減少
- 津久見) 輸出は9.1億円、前年同月比83.7%減。船舶類、セメントが減少
輸入は6.9億円、前年同月比8.2%減。石炭が減少、石油コークスなどが増加
- 大分 空港) 輸出は347.1万円、前年同月比10.2%減。再輸出品が減少
輸入は実績なし

港 名（通関官署）

(単位：百万円、%)

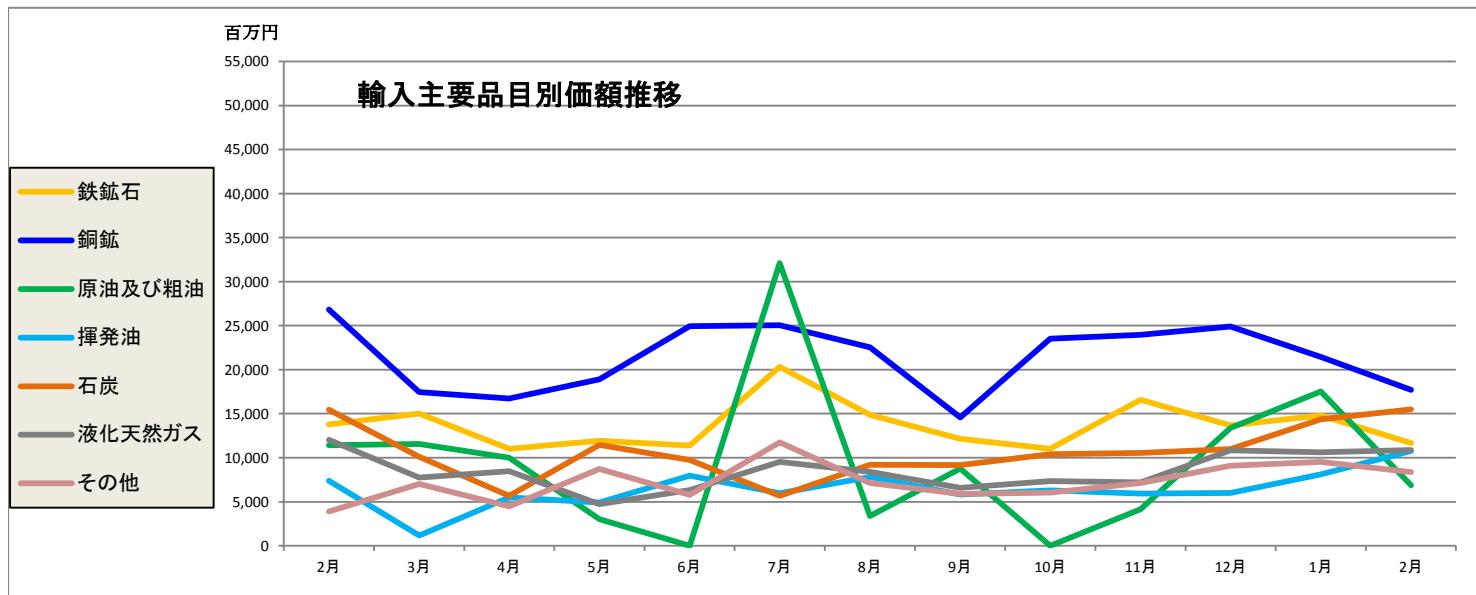
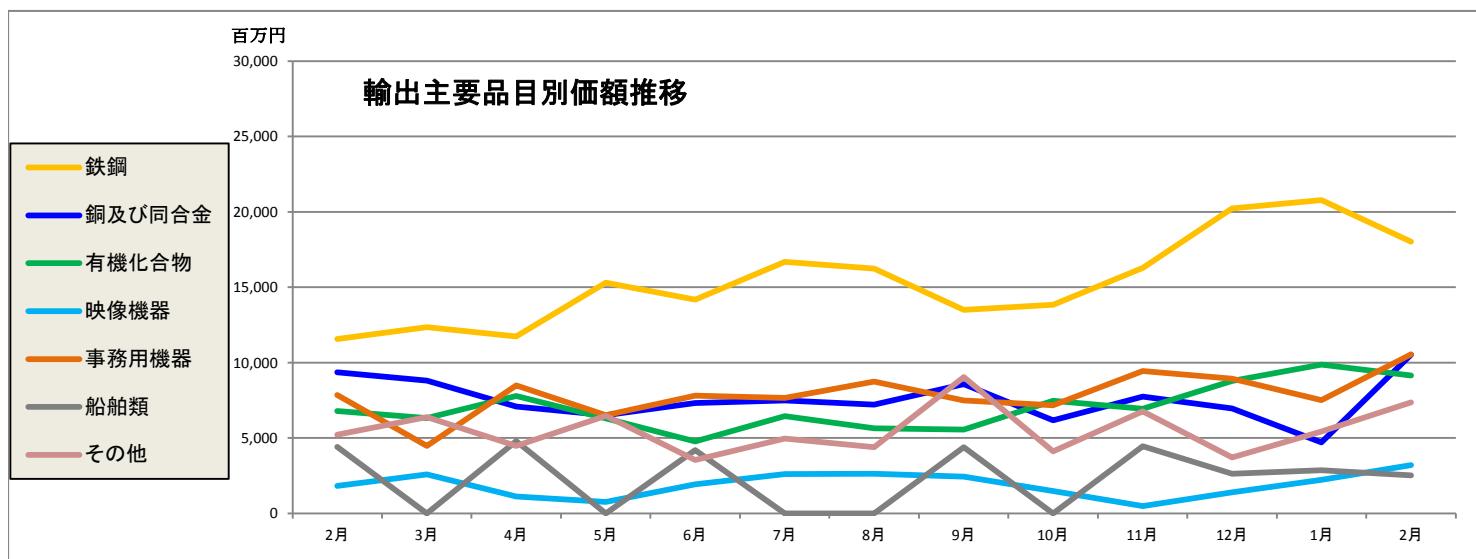
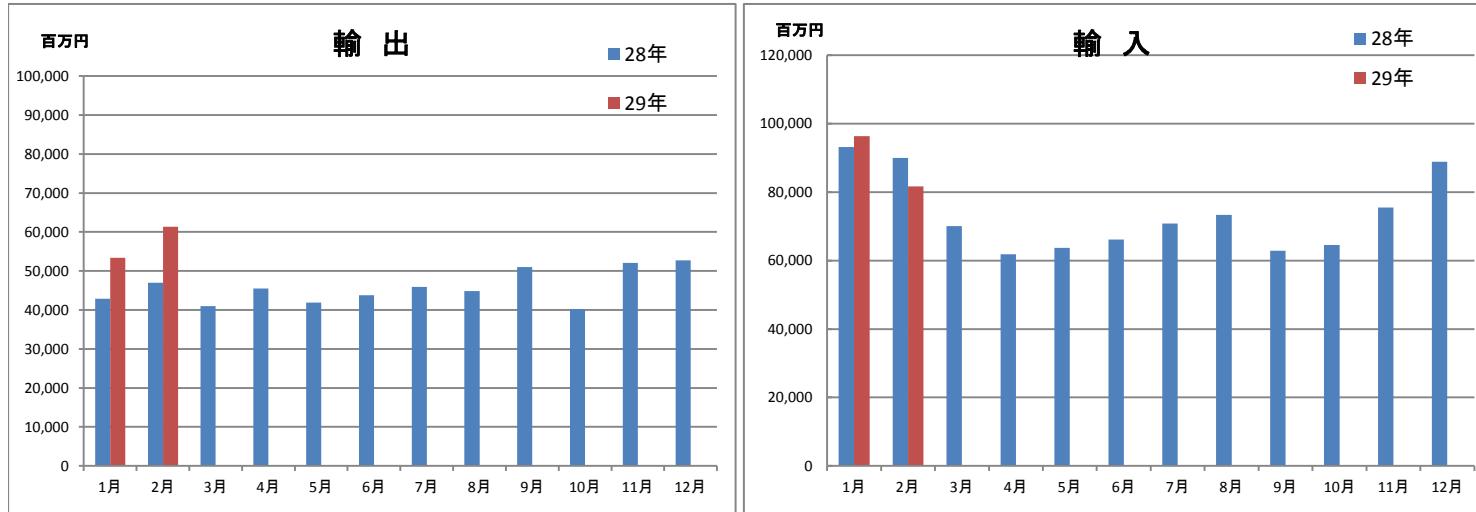
区 分	輸 出			輸 入			差引額	
	価 額	前年同月比		価 額	前年同月比		出・入超	価 額
大分(大分)	61,363	130.5	4か月連続のプラス	81,708	90.8	2か月ぶりのマイナス	入超	20,346
佐伯(佐伯)	78	166.8	3か月連続のプラス	237	677.7	2か月連続のプラス	入超	159
津久見(津久見)	914	16.3	2か月連続のマイナス	689	91.8	2か月ぶりのマイナス	出超	225
大分空港(大分空港)	3	89.8	12か月ぶりのマイナス	-	-		出超	3
大分県	62,358	118.4	5か月連続のプラス	82,635	91.1	2か月ぶりのマイナス	入超	20,277

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課

シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>

YouTube 税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>